

5.3 農業生産基盤

5.3.1 農業生産基盤

適応策の種類を整理結果を図 5.3-1、図 5.3-2 に示します。適応策の詳細な情報については表 5.3-1、表 5.3-2 を参照下さい。

■ 水田



図 5.3-1 適応策の種類を整理_水田（降水・洪水被害リスク）
（各適応策の詳細情報は表 5.3-1 を参照下さい）

■ ため池

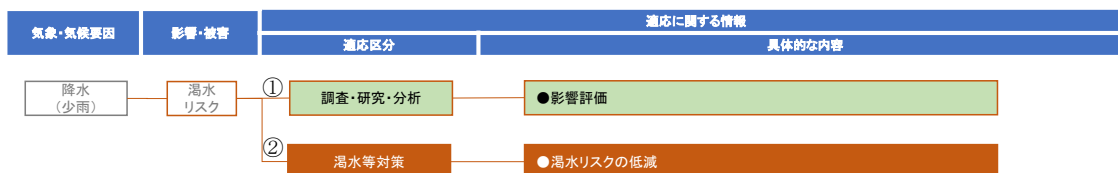


図 5.3-2 適応策の種類を整理_ため池（ダム、ため池）（降水(少雨)・渇水リスク）
（各適応策の詳細情報は表 5.3-2 を参照下さい）

図 5.3-1、図 5.3-2 で示した適応策の種類を整理結果にもとづき、該当する具体的な対策の概要等に関する情報をそれぞれ表 5.3-1、表 5.3-2 に示します。

表 5.3-1 適応策の種類を整理結果にもとづく具体的な対策の概要_水田（降水・洪水被害リスク）

気象要因	影響・被害①	影響・被害②	適応区分	具体的な内容	具体的な対策名	概要	課題	実施場所	出典
降水	洪水被害リスク	洪水被害リスクの増加	①調査・研究・分析	影響評価	田んぼダム（広域水田の持つ洪水防止機能の利活用）	【概要】 流域レベルで見た場合、大洪水に対しては、低平地水田が洪水を積極的に貯留するバッファとしての遊水地機能を果たす。		新潟県	増本（2010） ⁶⁰⁸
降水	洪水被害リスク	洪水被害リスクの増加	②洪水等対策	洪水防止機能の利活用	田んぼダム（広域水田の持つ洪水防止機能の利活用）	【概要】 流域レベルで見た場合、大洪水に対しては、低平地水田が洪水を積極的に貯留するバッファとしての遊水地機能を果たす。		新潟県	増本（2010）

表 5.3-2 適応策の種類を整理結果にもとづく具体的な対策の概要_ため池（ダム、ため池）（降水(少雨)・渇水リスク）

気象要因	影響・被害①	影響・被害②	適応区分	具体的な内容	具体的な対策名	概要	課題	実施場所	出典
降水（少雨）	渇水リスク	渇水リスクの増加	①調査・研究・分析	影響評価	統合利水管理	【概要】 流域に散在する複数の水源施設や灌漑地域を統合的に運用し、その渇水リスクを軽減する。		記載無し	堀川ら（2013） ⁶⁰⁹
降水（少雨）	渇水リスク	渇水リスクの増加	②渇水等対策	渇水リスクの低減	統合利水管理	【概要】 流域に散在する複数の水源施設や灌漑地域を統合的に運用し、その渇水リスクを軽減する。		記載無し	堀川ら（2013）

⁶⁰⁸ 増本隆夫（2010）：気候変動下の災害軽減に向けた水田の洪水防止機能の利活用，農業農村工学会誌，78(9)，755-758

⁶⁰⁹ 堀川直紀、吉田武郎、皆川裕樹、工藤亮治、増本隆夫（2013）：統合利水管理による渇水リスク低減に向けた少雨空間分布特性の評価事例，農村工学研究所技報，214，101-110.